

## 令和2年度鳴門教育大学教員免許状更新講習概要

### 選択領域

講習の区分	受講者が任意に選択して受講する領域
講習の名称	【選択】「安全確保につながる運動」としての水泳の要件と実践の方法
受講者定員	20人
受講対象者	全教員
開設日	令和2年8月3日(月)
講習の形態	実技, 講義
講習時間	6時間
講習会場	鳴門教育大学(徳島県鳴門市鳴門町高島字中島748番地)
担当講師	松井 敦典
受講料	6,000円

講習の内容	水泳は、体育種目のひとつとして取り扱われていますが、水難事故防止の目的も持ち合わせています。新しい指導要領にも「安全確保につながる運動」、「安全を確保するための泳ぎ」が導入され、それらの知識と技術の習得も求められています。本講習では、学校教育で水泳・水辺活動を実施する際に活用できるよう、その内容と方法、リスクマネジメント、心のバリアフリーなどに関連する今日的課題を取り扱い、プログラムを計画するためのヒントを提供します。学校行事等での応用・活用を想定し、教諭・養護教諭・栄養教諭を対象とします。
講習のねらい	教員が児童生徒を指導したり、引率・監督する際に役立つ安全水泳の内容と方法を理解し、特に初心者が安心して学習に取り組むための具体的な手順について学びます。また、サバイバル的な課題を設定し解決することにより、個や集団の安全力を高め(技能、思考・判断)、自信(態度)を持って水辺活動に取り組むための展開例を学びます。さらに、児童生徒が水着等で活動することに関する諸問題や今日的課題について、その対応策を検討します。
講習到達目標	次の事項について理解し、説明あるいは実施することができる。 ①今日における水泳教育の意義と習得すべき内容 ②初心者が「溺れない」ために習得すべき知識と技術 ③基本的な泳ぎの技術と展開方法 ④「服を着たままの水泳」の内容と方法 ⑤水泳学習におけるリスクマネジメントの内容と方法 ⑥水泳学習において配慮を要する事項
講習スケジュール	令和2年8月3日(月) 8時55分～ 9時00分 オリエンテーション 9時00分～10時30分 講義 10時40分～12時10分 講義 12時10分～13時00分 昼食休憩 13時00分～14時30分 演習(水泳プール) 14時40分～16時10分 演習(水泳プール) 16時15分～16時25分 試験問題/アンケート用紙 配付・説明 16時25分～17時05分 履修認定試験 17時05分～17時15分 試験問題/アンケート用紙 回収
履修認定試験の方法	筆記試験
成績評価	成績評価は、講習の担当者が作成した試験の成績から判断します。履修認定試験の結果、受講者の理解が到達目標に達したと認める場合は成績審査に合格した者としていますが、その際の評価は60点以上の採点をもって行います。
持参するもの	筆記用具、水泳演習の支度(水着、スイミングキャップ、ゴーグル、タオル、ラッシュガード、等)
台風接近等に伴う休講の振替日	令和2年8月18日(火)
その他	演習についてはプール実技を実施することを基本としますが、体調等の都合により観察も可とします。天候に応じて長袖ラッシュガード等着用を推奨します。(体にフィットしたものを推奨。ポケット・フード付きや余裕のありすぎるものは運動に不適) 受講申込みについては、「募集要項」を参照してください。